

小沢一郎議員をめぐる事件の年表

(網掛け部は、鳩山事件)

2007年 中頃	事務総局は改正検察審査会法を悪用して小沢一郎議員を起訴することを決めた？ (第一次安倍内閣の関与は？)
2008年 1月22日	日経新聞報道「最高裁事務総局が、2009年5月から東京の検察審査会を4か所増やすと発表」 (東京第五検審などの新しい検察審査会を作って、そこに審査員を配置しない手を決めた？)
” 10月	事務総局はイカサマ審査員くじ引きソフトを開発し、2008年11月からの審査員選定に使わせた
2009年 3月3日	検察は西松事件をデッチ上げ大久保元秘書を起訴したが、小沢氏は起訴出来ず 小沢氏は秘書の起訴を受け、民主党代表を辞任。鳩山氏が後任に。
” 5月	改正検察審査会法施行(2度の「起訴相当」議決で強制起訴される) 東京第三、第四、第五、第六検察審査会が新設され、検審業務開始
” 8月30日	衆議院選挙が行われ民主党大勝。鳩山政権誕生。
” 12月	検察は、「母親偽装献金事件」で告発された鳩山首相を不起訴処分とした
2010年 1月	市民が鳩山首相の不起訴を不服として検察審査会に申し立て
” 2月	検察は「小沢政治資金規正法違反事件」(陸山会事件)を捜査した結果、小沢氏を不起訴に。 石川、池田、大久保の3人の秘書を起訴。
” 2月12日	市民(?)が小沢氏の不起訴処分を不服として検察審査会に申し立て
” 4月26日	東京第四検審が「鳩山事件審査で“不起訴相当”の議決をした」と発表
” 4月27日	東京第五検審が「小沢事件の第1回審査で“起訴相当”の議決をした」と発表
” 5月	検察が「小沢事件」を再捜査し、再び不起訴とした
” 6月2日	鳩山首相退陣を表明。鳩山首相の要請で小沢氏も幹事長辞任。
” 9月8日	主要6紙が小沢検察審の第2段階審査について報道 「審査補助員が決まったのでこれから審査が本格化する。議決は10月末の公算」
” 9月14日	民主党代表選挙が行われ、小沢氏が菅氏に敗れる
” 10月4日	東京第五検審が「9月14日(代表選投票日)に、小沢氏を“起訴相当”議決した」と発表
2011年 1月31日	指定弁護士が検察役になり小沢元代表を強制起訴
” 2月22日	民主党が刑事被告人になったことを理由に小沢氏の党員資格停止処分を決定
” 10月6日	小沢裁判始まる
” 12月15日	石川知裕元議員(元秘書)の取調官であった田代検事が、虚偽捜査報告書を作成し東京第五 検審に提出していたことが発覚
2012年 4月23日	週刊朝日が「田代検事が作成した虚偽捜査報告書を手にした」と報道(審査員がいて、虚偽捜 査報告書によって起訴議決に誘導されたと思わせるための流出か?)
” 4月26日	小沢裁判一審無罪判決
” 5月2日	何者かが、ロシアサーバーを通し、田代検事作成の「虚偽捜査報告書」を市民活動家・八木啓 代氏に届けた(審査員がいて、虚偽捜査報告書によって起訴議決に誘導されたと思わせるた めの流出か?)
” 8月	八木啓代氏らが「田代検事虚偽捜査報告書事件」を検察審査会へ申し立て
” 11月12日	控訴審で小沢無罪の判決
” 12月16日	衆議院選挙が行われ自民党大勝。 第二次安倍政権誕生。
2013年 1月	小沢氏が「生活の党」を結党、党首となる
” 3月	森裕子前参院議員のブレンだったX氏が「私がロシアサーバーに流した」と志岐に語った
” 4月22日	東京第一検審が「田代検事虚偽捜査報告書事件で“不起訴不当”の議決をした」と発表 この結果、田代元検事は不起訴となる
” 7月21日	参議院選挙が行われる。「生活の党」の候補は全員落選。
” 9月23日	会計検査院が調査報告書提出:“審査員実在確認調査”において小沢検察審の調査を意図的 に外した
” 10月2日	森裕子氏がブログ記載内容に名誉棄損があるとして志岐武彦を提訴
2014年 7月18日	森裕子・志岐武彦裁判の判決「原告の請求をいずれも棄却する」(8月6日判決確定)